

主題：パウロの書簡における真理の重要な項目

メッセージ 7

肉の中で、また霊の中で

聖書：ローマ 1:9, 2:28-29, 7:17-18, 20-21, 8:4-6, 9-10, 13, 16, 12:11

I. わたしたちはミングリングされた霊(その霊とわたしたちの霊—— 8:16, I コリント 6:17) によって生きるために、肉が何であるかを見なければなりません：

- A. 肉は腐敗し、汚染され、変質した体です：
1. 人の体は本来、純粹なものでしたが、人の墮落を通して、サタンが彼自身を人の中に注入し、人の体は肉となりました——創 3:6, ローマ 7:18 前半。
 2. わたしたちの体は「罪の体」(6:6) また「この死の体」(7:24) です。罪の体は、神に対して罪を犯すことではとても活発で、力に満ちています。この死の体は、神を喜ばせるために活動することにおいては弱く、無能です(18節)。
 3. わたしたちがまだ生きている限り、わたしたちの贖いの日まで、罪と死の体は常にわたしたちと共にあります——参照、8:23。
 4. 「肉」という言葉はまた、わたしたちの墮落した全存在を指しています。人は完全に肉です。なぜなら、墮落した人は今日、墮落した肉の統治の下にあるからです——3:20, 創 6:3 前半。
- B. 肉は罪、死、サタンの「集会所」また組み合わせです。肉には望みはなく、決して改良されることができません——ローマ 7:17-18, 21, 参照、ヨハネ 17:15。
- C. 肉は神に敵対し、神の律法に服従せず、決して神を喜ばせることができません——ローマ 8:7-8。
- D. 罪はわたしたちの肉の中にある「悪」としてのサタン自身です——ヨハネ 17:15, ローマ 7:21：
1. 「悪」はサタン自身の邪悪な命、性質、特性です。サタンはわたしたちの中の内住する罪です。罪はわたしたちの中で潜伏しているとき、単に罪ですが、わたしたちが善を行おうとすることによってわたしたちの中で起き上がるとき、「悪」となります。
 2. 罪はわたしたちを欺き、殺し(ローマ 7:11)、わたしたちを支配し、すなわち、わたしたちの上で統治権を持ち(6:12, 14)、自分の意志に反して事を行なわせます(7:17, 20)。このすべての活動は、

罪が生きたパーソンであることを見せています。

3. 罪は邪悪な者サタンの邪悪な性質であり、彼はアダムの墮落を通して彼自身を人の中に注入しており、今や罪深い性質となって、墮落した人の中に住み、活動し、働いています——参照、マタイ 16:22-23。
4. ガラテヤ第 2 章 20 節でパウロは言っています、「生きているのはもはやわたしではありません。キリストがわたしの中に生きておられるのです」。ローマ第 7 章 17 節で彼は言います、「もはやわたしではなく、わたしの中に住んでいる罪です」。これは、罪がわたしたちの内側のもう一人のパーソンであることを見せています。
5. わたしたちの肉の中に善なるものが住んでいないのは、肉が完全に、罪としてのサタンによって占有され、支配されているからです——18 節前半。

II. 神のエコノミーのために、神は彼の知恵と主権の中でわたしたちの罪深い、醜い肉を用いて、わたしたちを強いてわたしたちの霊に戻させます。それは、わたしたちが神の建造のために、わたしたちの中での神の増し加わりによって、さらに多くその霊を獲得するためです——コロサイ 2:19. ゼカリヤ 4:6 :

- A. わたしたちは、霊にいるか肉にいるかのどちらかです。わたしたちがいるべき第三の場所はありません。信者はエデンの園の縮図です。彼の霊の中には命の木としての神がおり、彼の肉の中には知識の木としてのサタンがおり、その間に思いがあります——ローマ 8:6。
- B. 法理的に言えば、サタンとわたしたちの肉は十字架上で一度で永遠に罪定めされましたが（ローマ 8:3. ヨハネ 3:14. ヘブル 2:14. II コリント 5:21）、神は肉がわたしたちにとどまって、わたしたちを助け、わたしたちを強いて、霊の中のキリストに戻らせ、わたしたちがもはや肉を頼みとしないようにします（ピリピ 3:3）。
- C. 罪深い、醜い肉による助けがないなら、わたしたちは真剣になって主を獲得し、彼がわたしたちの中に造り込まれるようにしないでしよう——ローマ 8:6, 13。
- D. わたしたちの目標は、聖別、霊性、勝利であるかもしれませんが、神の目標は、ご自身をわたしたちの中に造り込むことです。しばしばわたしたちは困難な状況にあるとき、さらに主に開き、さらに進んで彼に向かわせ、彼にご自身をわたしたちの中に造り込んでいただきます——ローマ 8:28-29。
- E. わたしたちが彼を追い求めるなら、肉から成る罪深い複合でさえ、

主を獲得することでわたしたちの助けになります。わたしたちはしばしば失敗するので、真剣になって霊に戻り、このようにして、さらに多くその霊を獲得します—参照、出 23:23, 29-30. 士 2:21—3:4。

F. わたしたちの困難、打撃、失敗、失望はわたしたちを強いて、肉には望みがないことを認識させます。肉はただ、わたしたちを強いて、霊の中のキリストに向かわせ、わたしたちを霊の中へと進ませて、真剣になって霊の中に入らせ、目を覚まさせて、霊の中にとどまるようにさせるだけです—マタイ 26:41. エペソ 6:17-18。

G. 主は、わたしたちが勝利を得るかどうかに注意しません。主はただ一つの事、すなわち、わたしたちがその霊としての彼を獲得することに注意します—ピリピ 3:8. II コリント 3:17-18。

III. わたしたちの霊はすばらしい複合、すなわち、キリスト、その霊、恵みが複合されたものです—II テモテ 4:22. ローマ 8:16. ガラテヤ 6:18 :

A. 神は、わたしたちがこのすばらしい複合の霊にしたがって歩く（わたしたちの存在、生活と、言い行なうすべてのことが、霊にしたがっている）ことを願っています—ローマ 8:4. ピリピ 1:19. I コリント 6:17. 参照、出 30:23-25。

B. 霊にしたがって歩く人だけが、地方召会の建造のための正しい肢体となることができます。もしわたしたちにそのような歩みがなければ、わたしたちは遅かれ早かれ、地方召会にとって問題となるでしょう—ガラテヤ 5:16-26。

C. ローマ人への手紙が啓示していることは、わたしたちであるすべて、わたしたちが行なうすべて、わたしたちが持っているすべてが、霊の中になければならないということです。これはわたしたちを宗教のむなしさから守ります—ガラテヤ 1:9. 7:6. ピリピ 3:3 :

1. すべての霊的な事柄の実際は神の霊により、神の霊はわたしたちの霊の中にあります。ですから、すべての霊的な事柄の実際は、わたしたちの霊によるのであって、わたしたちの霊以外の何にもありません—ローマ 8:5-6, 9-11。

2. わたしたちの中にあるものは何であれ、「内側」の、わたしたちの霊の中になく、「外見上」の、肉の中にあるなら、それは空虚です—2:28-29. 8:4, 10, 13. 12:11。

3. 神がわたしたちに対して何であるかのすべては、わたしたちの霊の中にあります—8:16. II テモテ 4:22。

D. 神は彼の定められた御旨のために、人の霊を留保しました—ゼカリヤ 12:1. 箴 20:27。

- E. わたしたちの霊は今日、真のベテル、神の家、天の門です。わたしたちは霊に戻るとき、第三の天にいます——エペソ 2:22. 創 28:12, 17, 19。
- F. わたしたちは霊の中にいるとき、至聖所において、恵みの御座に触れ、キリストによって維持されて、地上で天の生活をします——ヘブル 10:22 前半. 4:16。
- G. わたしたちは霊の中でこの世に打ち勝つことができ、邪悪な者はわたしたちに触れることができません。サタンに打ち勝つ唯一の道は、わたしたちの再生された霊という高い塔にとどまることです——I ヨハネ 5:4, 18. ヨハネ 3:6. 14:30。
- H. 命を与える霊としてのキリストが、ご自身をわたしたちの霊の中に分与したので、わたしたちの霊は命（ギリシャ語、ゾーエ）です——ローマ 8:10。
- I. わたしたちの霊は一の場所です。わたしたちは霊の中で神を礼拝しはじめて、一になることができます。わたしたちの霊は今日のエルサレムです——ヨハネ 4:23-24. 詩第 133 篇。
- J. 天的で霊的な食物であるキリストは、わたしたちの霊の中におり、わたしたちは彼を食べて彼の証しとなり、彼の中へと成長して、彼のからだを建造する必要があります——ヨハネ 6:57, 63。